

**製品名: ARA54 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07087**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	50kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RNF14
別名	RNF14; ARA54; HRIHFB2038; E3 ubiquitin-protein ligase RNF14; Androgen receptor-associated protein 54; HFB30; RING finger protein 14; Triad2 protein
遺伝子 ID	9604.0
SwissProt ID	Q9UBS8
免疫原	抗血清はヒト RNF14 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410

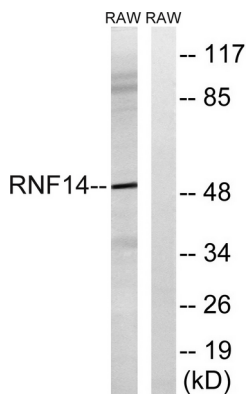
**背景**

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、タンパク質間相互作用に関与することが知られている RING ジンクフィンガーモチーフ

フを含む。このタンパク質はアンドロゲン受容体 (AR) と相互作用し、前立腺において AR 標的遺伝子の発現を誘導するコアクチベーターとして機能する可能性がある。この遺伝子の優性負性変異体は、AR を介した前立腺癌の増殖を阻害することが実証されている。このタンパク質はクラス III ユビキチン結合酵素 (E2) とも相互作用し、特定の核タンパク質のユビキチン化においてユビキチンリガーゼ (E3) として機能する可能性がある。2つの異なるアイソフォームをコードする 6つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されている。[RefSeq 提供、2011年1月];注意:ファミリーの保存された特徴の1つである RING 型ドメイン 2 の His 残基がありません。;注意:ここで示されている配列は、Ensembl 自動解析パイプラインから派生したものであり、予備データとして考慮する必要があります。;ドメイン:N 末端破壊ボックス (D ボックス) は、ユビキチン-プロテアソーム経路を介した分解の認識シグナルとして機能します。;ドメイン:RING 型ジンクフィンガーは、UBE2E2 との相互作用に不可欠です。;機能:特定の E2 ユビキチン結合酵素からユビキチンを受け取り、それを核タンパク質である可能性のある基質に転送する E3 ユビキチン-タンパク質リガーゼとして機能する可能性があります。アンドロゲン依存性転写、および程度は低いがプロゲステロン依存性転写のコアクチベーターとしての役割を果たす可能性があります。;経路:タンパク質修飾;タンパク質のユビキチン化。;PTM:RING 型ジンクフィンガー依存性および UBE2E2 依存性自己ユビキチン化。;類似性:RBR ファミリーに属します。RNF14 サブファミリー。;類似性:1つの IBR 型ジンクフィンガーを含みます。;類似性:1つの RWD ドメインを含みます。;類似性:2つの RING 型ジンクフィンガーを含みます。;サブユニット:ユビキチン結合酵素 UBE2E1 および UBE2 と相互作用し、テストステロン存在下ではアンドロゲン受容体 (AR) と相互作用します。;組織特異性:広く発現しています。;

## 研究分野

## 画像データ



RNF14 抗体を用いた RAW264.7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。